



長野県北信地区 （軟式野球競技）の地域移行事例

**JHSみゆき野軟式野球クラブ監督・事務局
長野県飯山市立城南中学校 安川輝壘**

概要

I. JHSみゆき野軟式野球クラブ の地域移行

- ・ 地域移行の経緯
- ・ クラブ化するまでの動き
- ・ クラブ化したことのメリット
- ・ 現状の課題

II. 長野県北信地域（軟式野球競技） の地域移行の取り組み

- ・ 長野市の取り組み
- ・ 千曲市の取り組み
- ・ 地域全体の現状

III. 最後に

- ・ これからの地域移行への願い

飯山市



Iiyama City
NAGANO JAPAN



飯山市HPより [飯山市公式サイト | トップページ \(city.iiyama.nagano.jp\)](http://city.iiyama.nagano.jp)

地域移行の経緯

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- ・テレビや新聞などのメディア報道による「部活動地域移行」の言葉の一人歩き
- ・長野市は令和7年度末に運動部活の発展的転換を目指す（※平日、休日ともに地域移行する方針）



・現場の教職員が見通しを持つ前に、保護者や生徒からの問い合わせ
＝部活動がなくなるという不安感が先行

地域移行の経緯

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

・勤務先の人事移動のタイミング

- ・・・このまま移動して、今活動している選手たちはどうなるのか

・生徒数の減少や部活動離れによる競技人口の減少

- ・・・自分に合ったレベルで競技を続けたい、子どもがやりたいことを思いっきりやれる環境を維持できるのか

・次年度の1年生に対して

- ・・・令和8年度の休日完全移行（長野県）は、次年度の1年生（現中学1年生）が3年生のタイミングのため事前に説明が必要ではないか。

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- ・市内の2校の野球部が合同し、市内で1チームに。
→指導者や組織づくりをすれば地域クラブチームに移行できるのでは？

- ・学校長、教頭先生を通して、市教育委員会への相談と提案をするもうまく進まず…

そんな時!!

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

ターニングポイント

市内の硬式野球クラブ(飯山シニア)の方から連絡

部活動地域移行
どうする？

地域移行したい
んです!!

じゃあ硬式と組織一緒
にしてやらないかい？

チーム発足準備スタート

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

ターニングポイント

市内の硬式野球クラブ(飯山シニア)の方から連絡

私との関係

- ・ 中学時代所属していたクラブチームの当時監督
- ・ 現在市役所職員として、長年地域の野球に携わる
- ・ 総合的な学習の時間の街づくり学習で協働・協力
- ・ 学校施設借用等で連絡を取り合うなど

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

その後の動き

- ・市教育委員会（教育長）へ再度提案と認可、学校長へ確認
- ・硬式クラブ後援会、部活動保護者会長との懇談と承認
- ・硬式チーム、軟式チーム選手とのヒアリング
- ・硬式チーム、軟式チーム保護者会とのヒアリング
- ・ヒアリングで出てきた懸念事項を検討
- ・保護者全体会の承認

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

・ヒアリングで出てきた懸念事項を検討

生徒から…指導者(監督)は先生から変わってしまうのか？

それによって練習や試合の雰囲気も変わってしまうのか？

練習場所や練習時間が変わるのか？など

保護者から…チームの雰囲気が変わってしまうのか？

保護者の経済的・時間的負担が今より大きくなるのか？
など

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

・ヒアリングで出てきた懸念事項を検討

生徒と保護者への説明内容

- ・ 指導してくれる大人が増えることなどのメリットを説明
- ・ 費用負担は令和8年までは現状の保護者会費のみで維持
(ただし、令和8年からはおおよそ月3000円～5000円で検討中)
- ・ 初期費用(新ユニフォーム代)などの目安
- ・ 現状のチーム理念と方針の提示と今後のチームもこの指針に
そって活動を行うことを説明

地域移行まで

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- ・年度末(3月)に学童チームとの交流会
(クラブ体験会の企画・保護者説明会)
- ・地域指導者の募集と呼びかけ
(チーム理念を伝えて)
- ・新チームのユニフォーム作成
- ・チーム支援企業のお願い
- ・指導者資格の取得、審判資格の取得
- ・中体連事務局への申請、認可



みゆき野軟式野球クラブ 体験会のお知らせ

事前申し込み不要! 参加費無料! 未経験者大歓迎

日時	3月24日(日) 8:30~12:00
会場	飯山市立城南中学校グラウンド
対象	小学校6年生 男女未経験不問!!
持ち物	帽子・飲み物・タオル・(グローブ)
服装	運動のできる服装

● 体験会開始の8:30までに、会場にお越しください。
● 雨天時の場合は、城南中学校の室内練習場での体験会となります。
● 駐車場は城南中学校の敷地内駐車場をご利用ください。
● グローブをもっていない方は、当日、貸し出し用のグローブを用意いたしますので、そちらをご利用ください。ただし数に限りがございますので、ご持参いただけるとありがたいです。
● 体験会当日に、クラブ入会の書類などを配布いたします。当日、ご都合がつかず参加ができない場合は、下記問い合わせメールアドレスまでご連絡ください。

お問い合わせ
みゆき野軟式野球クラブ 事務局/監督 安川輝聖
Mail miyukino.r.b.c@gmail.com (できるだけこちらにお願いします)
TEL 0269-62-2301 (城南中学校)

地域移行までの動き

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- ・ 4月クラブ発足会と入会式

- 新入生 21 名が入会
- 地域指導者 6 名(現在 8 名)
- 協賛企業から寄付
- 市の施設(市営球場を減免)
- 市校長会の承認を受け、令和 8 年までは教員は部活動の延長として活動が可能



発足時大変だったこと

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- ・保護者への説明責任。教員の立場でどこまで説明して良いか。地域移行の責任の所在。
- ・初期費用（ユニフォーム代や指導者保険代）の捻出
- ・他地域部活動チームとの連絡連携（先走らないように）
- ・市行政、市校長会、所属学校との連携。（窓口は？）
- ・人材、活動場所の確保。（誰にどのような手続きで？）
- ・生徒が不安感を持たないように、経過を伝えていく

地域移行のメリット

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

- **学童指導者がコーチとして参加していただけたことで、学童から中学校まで一貫した指導体制が可能（選手理解）。**
- **指導者が増え、初心者への丁寧な指導が可能。地域で活躍する専門技術を持った方の参加でレベル別に指導でき、選手のニーズに対応。（競技力向上）**
- **地域の大人と関わることで、長い目で生涯スポーツの基盤としても機能。本当の意味で地域に根付いた関係へ。**

地域移行後の課題

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

・地域指導者の安定的な活動参加

＝現状、平日参加は難しい。農家の方の繁忙期は土日も厳しい。

・広域地域からくる生徒が平日参加する際の送迎

＝現状は平日は「部活動」として各校で活動し、週末は「クラブ」として11時間以内で活動（市内バスの運行が可能か交渉中）

地域移行後の課題

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

・チームの連絡手段

＝月の予定表や試合の引率計画等を全ての学校に送り、地域指導者、保護者へ周知。地域指導者になった場合、可能か？

・活動備品の管理

＝備品は学校施設で管理しているが、今後はどうなる？

・指導者の手当てや保険、交通費など

＝受益者負担とはいうものの、低負担が学校部活の良さでもあったはず

課題を解決した先に

I. JHSみゆき野軟式野球クラブの地域移行

・教員の“やりがい”と“負担軽減”の両立

＝指導の負担を分担することで、競技を通じた生徒の成長を感じつつ、自分時間をつくれる余裕が生まれる。移行期の今、生徒のために移行に関われば負担は増える。仕方ない。

・より深まる地域と子どもたち

＝地域をつくる一人として、地域に生きる子どもたち。地域の大人たちとの関わりを通して、地域に貢献できる人材へ

I. JHSみゆき野軟式野球
球クラブの地域移行

小休止



II. 長野県北信地域（軟式野球競技）の地域移行の取り組み

長野県野球協会の存在

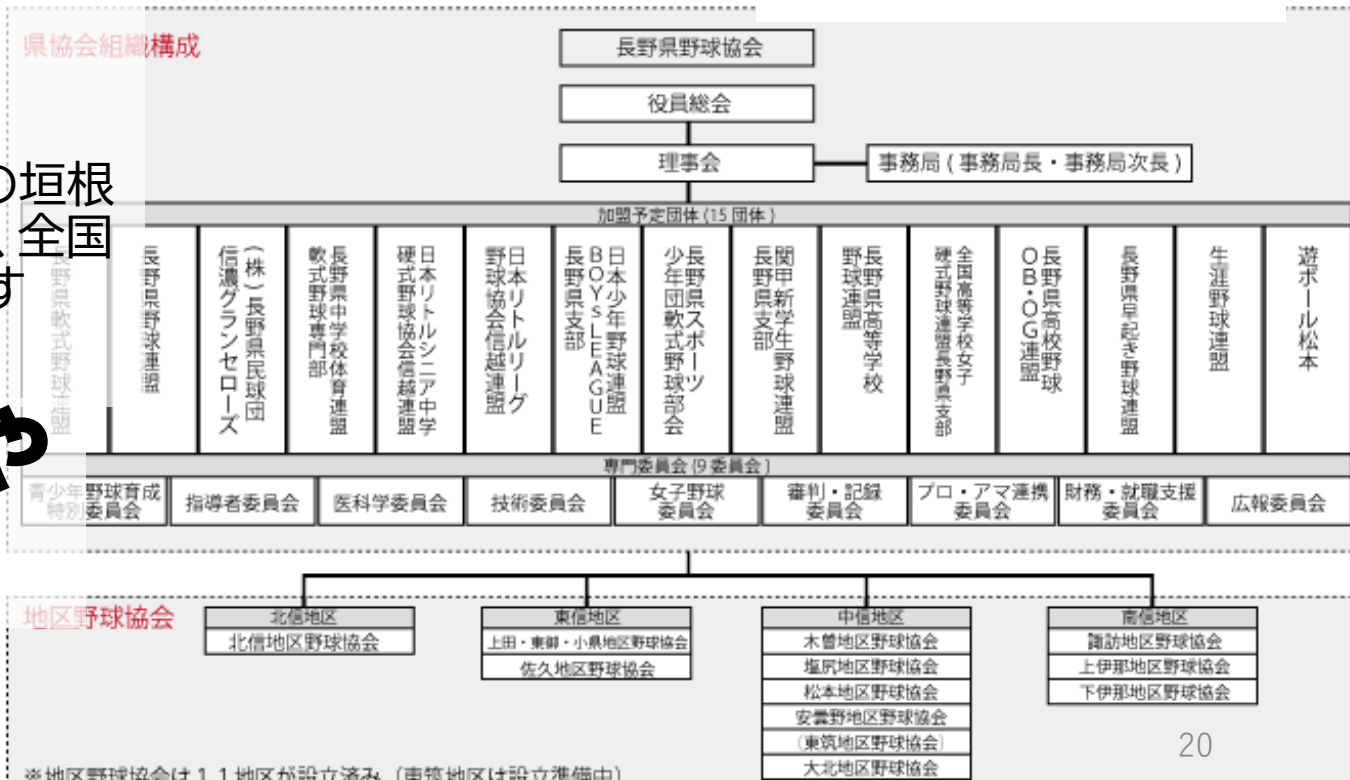
野球協会QRコード



長野県内の野球関係者 でつくられた組織

県内の15野球団体がプロとアマ、硬式と軟式、男女の垣根を越え、一丸となって野球の普及・振興に力を尽くす、全国でも先進的な統括組織として活動を広げています

= 地域移行のサポートや
情報提供



II. 長野県北信地域（軟式野球競技）の地域移行の取り組み

長野市の取り組み

野球部顧問と地域指導者が行政
と連携して移行化へ

参考資料QRコード



	「Sクラブ」 犀陵中学校区に設立	「長野北部野球クラブ」 北部中学校区に設立
	Sクラブ	長野北部野球クラブ
設立者	- 野球部の外部指導者が中心 - 保護者や小学生年代の指導者も協力	- 指導を希望する顧問と地域の協力者 - 保護者や小学生年代の指導者も協力
経過	- 関係者によるビジョンの共有 - 規約、規則の策定 - 総会の実施、スポーツ保険の加入 等	- 関係者によるビジョンの共有 - 規約、規則の策定 - 総会の実施、スポーツ保険の加入 等
指導者	- 地域指導者（有資格者） - 休日の活動に教職員が関わっていない ※希望する教職員は地域指導者として参加が可能（大歓迎！）	- 地域指導者（有資格者） - 指導を希望する教職員（職務ではない） ※市実施のアンケート調査も活用し、他校の教員も参加 保護者、保護者OB、U12指導者 等
活動場所	中学校の校庭を借用（学校と連携）	中学校の校庭を借用（学校と連携）
活動実態	平日は部活動、休日はクラブ活動 ※今後、平日の地域移行も検討	平日は部活動、休日はクラブ活動 ※今後、平日の地域移行も検討
大会参加	R5から中体連大会にSクラブとして 参加予定（犀陵中野球部としては不参加）	R5から中体連大会に北部クラブとして 参加予定（北部中野球部としては不参加）
その他	- 小学生との交流も積極的に実施 - 今後、他校の生徒も受け入れる	- 小学生との交流も積極的に実施 - 今後、他校の生徒も受け入れる

II. 長野県北信地域（軟式野球競技）の地域移行の取り組み

千曲市の取り組み

教育委員会を中心に、各校と連携して移行化へ

参考資料QRコード



千曲市・坂城町の事例

更埴地区では、坂城町教育委員会、千曲市教育委員会が中心に、各中学校と連携して検討



- ・「更埴少年野球クラブ」（※以下、クラブ）としての規約を策定している
- ・教職員や地域指導者がクラブに登録し、各指導部の指導に携わる
- ・クラブとしてスポーツ協会に加盟→運営費等の支援を受けている
- ・平日は部活動、休日は指導部での活動を行っている（今後、平日の地域移行も検討）
- ・基本的には指導部ごとに活動しているが、月1回程度、クラブとしての活動も行っている
- ・軟連や中体連の大会には指導部ごとに参加する
→人数が揃わない指導部は「更埴少年野球クラブ」として参加するも可能としている

これからの地域移行の願い

・生徒の成長の場を確保してあげたい

＝学校教育活動の一環である部活動から移行するにあたって、生徒ファーストは絶対。人（生徒）を成長させるのは他人（周囲の大人や仲間）との関わりによって。すべての地域の生徒の成長の場を確保してあげたい。

・指導者が時間的、経済的、身体的負担の少ない地域クラブへ

＝持続可能な地域クラブ運営のためには、指導者の負担を少なくする工夫は必須。ボランティアや善意に頼ってはいけない。誰かにとって都合の良い環境は、誰かにとって不都合な環境であってははいけない。指導者の心の余裕は、きっと生徒に還元される。

・行政・学校・民間の連携は必須

＝まずは正しい情報の共有。誰かが手を上げたら、ではなく誰かが動かないと始まらない。はじまったら行政・学校・民間が参加しやすい雰囲気。

ご清聴ありがとうございました

